

大谷小中学校だより

NO.4
令和5年 7月21日
珠洲市立大谷小中学校

1学期の成長

～ ルーティーン確立の夏休みに ～

校長 上田 辰美

おかげさまで、全員が無事にそして安全に1学期を過ごすことができました。これまでのご家庭・地域の皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。

7月20日の終業式では、4月の始業式にお願いした3つのことについて、振り返りました。

1つ目は、何か頼まれたら、「喜んで」と引き受けてみてほしいということについてです。「無理」「嫌です」「え～。僕ですか～?」という言葉が聞かれなくなりました。「できない」とか「面倒」とか決めつけずに動く姿が増えました。誰かに頼られるというのは素敵なことです。そしてそれに応えるというのはもっと素敵なことです。2つ目は、人の考えをよく聞いて、その後には、必ず疑問や感想を伝えてほしいということについてです。あこさんとめいさんは必ず感想発表ができていました。「すぐに反応して自分の意見を言えるのは大谷の子どもたちの良さですね。」と、体育指導にご来校いただいた万代呂先生がお話くださいました。3つ目をお願いした、最上級生のひなさんとらいきさんのはリーダーとしての活躍ぶりは見事でした。長年二人で培ってきた率直なやり取りや笑いを誘うかけあいが、温かな雰囲気を作り出し、集会等はいつも「いい感じ! (ひなさんがよく使う言葉)」です。

そして、先生方も明るく元気に楽しい雰囲気です。1学期を送ることができた様子です。先生方の姿が自然に子どもたちにもうつっているようにも思います。まさに、大人の姿を見て子どもは育つ・・・です。

さて、楽しい夏休みが始まります。自己教育力に磨きをかけ、41日間を過ごしてほしいと伝えました。具体的には、一日のルーティーンを確立することが大切なのだと思います。

私は、庭仕事が好きで、草むしりや花植えに時間を忘れて夢中になることがあります。草むしりなどは、一日でいっきにやっつて、2週間ほど放置という状態です。2週間放置すると草の背丈も伸びておむしるのが大変でどっと疲れます。この時、祖母たちの知恵を思い出します。毎日少しずつ、まんべんなく確実に進めるためのルーティーンです。朝食前の涼しい時間に畑で草をむしり、朝食後にはガス窯で焼き上げたご飯をジャーに移しかえ、番茶を沸かして冷やし(曾祖母は一晚おいた番茶を嫌がり、朝番茶をわかす匂いが漂うのが夏の定番でした)、洗濯を干し、掃除をする(働いていると1週間まとめた掃除となっています)。その後は日陰で作業をする。昼食後はNHKのドラマを見て昼寝をし、近所の人と縫いものなどをしながらの情報交換会? やおらっと畑の収穫に出かけ、夕方にお風呂をわかして夕食を準備し、TVを見て早い時間に就寝。毎日少しずつ確実に進めることで、大きな労力をかけません。まさに毎日コツコツと・・・でした。

いっけん簡単なことのようにですが、いざやってみるとなかなか難しいのです。自分でこのルーティーンを壊す選択をしてしまいがちだからです。自然に体が動くようになる状態になかなか到達しません。しかし、くじけずチャレンジしたいと思います。ルーティーンが確立されると余裕ができて時間が豊かになることを子どもたちも経験して欲しいと思います。「夏休みのしおり」には、24時間の目盛りが入った一日の過ごし方を書くページがあります。ご家庭で話題にいただければ幸いです。

子どもたちが、安心・安全に、夏休みを楽しめるように危機察知能力・危険回避能力を高めることについても伝えましたが、長い夏休み中、ご家庭でのご協力をよろしくお願い致します。

■ 進路説明会 6月26日(月)

飯田高校と能登高校の先生方から、高校での学習や学校生活の様子についてお話をお聞きしました。生徒の感想からは、「学科やコースの選択で大きく将来が変わることが分かったので、安易に決めずに一つ一つの選択を大切にしたい」「何事にもやる気がないといけない。それも、自分からやる気のスイッチを押さなければいけない。」という感想が聞かれ、前向きに進路をイメージしていました。両校の先生方、ありがとうございました。



■ 奥能登芸術祭ワークショップ 7月3日(月)

奥能登国際芸術祭で「あかりのありか《のと》」を出展される作家の泰然さんをお迎えし、前期児童対象のワークショップが行われました。今回は、「キリコ祭り」をLEDと積み木を使って表現しました。

初めはLEDライトに興味津々の子供たちでしたが、グループで創作するうちに、ライトの当て方やキリコの形について何度も作り直ししながら、あかりの美しさや面白さを感じ取っていました。



■ PTA震災・防災講演会 7月10日(月)

PTA保健安全委員会主催の震災・防災講演会が開催されました。NPO法人体験型安全教育支援機構の清水奈穂さんを講師にお迎えし、「大地震がおきたその時どうする?～揺れはじめの8秒が生死を分ける～」というテーマでご講演いただきました。日頃の避難訓練では、自分の身を守る事が中心でしたが、今回は保護者・地域の方々にもご参加いただき、協力して逃げることや大人に助けを求めることも学びました。また、揺らされる台車の上で後頭部や首を守ったり、地震後の道路を想定して逃げたりなど、楽しんで体験しながら大切さを感じていました。ご準備いただいた皆様、ありがとうございました。



■ 薬物乱用防止教室 7月13日(木)

「薬物が人体に与える害」というテーマで、後期課程と5、6年生に分かれて薬物乱用防止教室を実施しました。視覚資料を使って、タバコやアルコール、違法薬物の心身への有害性や依存性の怖さなどを学習しました。他人事ではなく自分のこととして、将来の健康な生活について考えました。また、5、6年生は、誘いを断るロールプレイングで、学習した内容を生かし、自分の意思決定をする活動に取り組みました。ご指導いただきました学校薬剤師の梶田先生、能登北部保健福祉センターの皆様、ありがとうございました。



8月 行事予定

七夕の笹かつぎたる子らの列 辰美

1	火	安全点検	11	金	山の日	21	月	
2	水		12	土		22	火	海岸清掃ボランティア 8:00 職員会議①13:30
3	木		13	日		23	水	
4	金	珠洲市親子議会15:00 珠洲産業センター	14	月	学校閉庁日	24	木	
5	土		15	火	学校閉庁日	25	金	
6	日		16	水	学校閉庁日	26	土	
7	月		17	木	学校閉庁日	27	日	
8	火	全校登校日 8:10 後期計算コンテスト1限	18	金		28	月	全校登校日 8:10 委員会①8:35 陶芸教室 9:30
9	水	石川県中学生選抜新人卓球大会 8:45 河北台県民体育館	19	土		29	火	校内研修会②13:30 金沢大学加藤先生来校
10	木		20	日		30	水	
						31	木	

6月・7月の後期課程の体育の授業で、バレーのご指導をして頂いた万代呂先生へのお礼の会を行いました。ひなさんが「前よりバレーが好きになり、うまくなりました。」と挨拶をし、らいきさんが花束を贈呈しました。楽しい体育の授業をありがとうございました。

事務の木下早映先生が、7月28日から産休に入られます。学校全体の様子に常に気を配り、着実にお仕事をしていただきました。終業式の日、子どもたちが色紙をお渡しして、感謝の思いと激励の言葉を伝えました。元気なお子さんの誕生をみんなで祈っています。

～子どもたちの思い～

震災・防災講演会



●この前、大地震があったとき、怖くて何も動けませんでした。知識として津波が来るから逃げるや机の下に隠れると分かっているけど動けなかったのが、今回実際に動いて体験したことを生かして動けるようにしたいなと思いました。(さやか)

●初めに警報がなったとき、どうすればいいかわからず数十秒かかって行動しました。ですが「遅い」と言われたので、行動を速くして逃げ遅れないように気を付けたいと思います。次に、自分は、震度が弱かったら大丈夫だろうと思って動かないけど、もしものときに備えて行動をとろうと思いました。(みふゆ)

●地震がありすぎて、震度1～4ぐらいまでなら「大丈夫だろう」と考えてしまう。しかし、今日の防災教室では、地震のときに「大丈夫」と思ってはいけないと言われた。大谷地区は、津波がくるときに1分もかからないことや、とある震災では12秒以内に多くの人が亡くなったなどの話を聞いた。これからは、小さな地震でも油断せず、素早く行動をとるようにしたいと思った。(しゅんすけ)



●特に印象に残っているのは、地震が起こってから8秒間でなるだけ安全な所へ避難するという。8秒間何も出来ずにかたまっていると、物の下じきになってしまったり、最悪死に至ったりすることにびっくりした。8秒は短いようで長いような時間で頑張っ確認や避難をしたいと思った。また、状況に応じた身を守るためのポーズも教わった。いざとなったら、自分の命は自分で守らなければいけないから、今日習ったことを実際の時も冷静を保って行きたい。(わかかな)

●私は、防災教室に参加して学んだことは、人と協力して逃げることです。車いすの人がいたりけが人がいたりするときは、落ち着いて周りの人と協力しようと思いました。今日の防災教室で学んだことを、家族に伝えたり、家の避難場所を確認しておこうと思いました。(ひな)



●防災教室で習ったことは、地震などの災害で、落ち着いて早く安全なところへ移動することです。地震で物が倒れる前に固定して、少しでも安全に逃げることができるようになることが大切だと思いました。(しょうま)

●ぼうさいくんれんは、音がいちばんこわくて、ふるえそうになりました。ぼくは、いちばんの思い出は、たてものがくずれる中をひなんするれんしゅうです。また、地しんがおきたときは、思い出してにげます。(ゆいと)

●防災教室に参加して自分の身の守り方を教わりました。まず、うさぎのポーズで周りを確認して、次にかめのポーズで後頭部を守る方法です。これらの一連を実際に災害が起きたとき使ってみようと思います。(らいき)

●私は、防災教室を通して学んだことが2つあります。1つ目は、地震が起きてからの8秒が大事だということです。4分の3の人が8秒以内に被害にあっていることを知って、8秒以内を冷静に行動したいと思いました。

2つ目は、不審者についてです。ぼくは男なので、ちかみはないかもしれませんが、変な人に話しかけられたり、変な動きをしていたら、通報したり大人の人に助けを求めたりしようと思います。(こうたろう)

●私は、防災教室に参加して、考えたことは、助け合いについてです。なぜかという、冷静に判断が難しい低学年にとって、8秒以内に安全な場所に逃げるのはとても難しいことだと思うからです。また、お年寄りや介護が必要な方には、適切な対応で1人でも多く命を救いたいと思いました。(めい)



●ぼくは、防災教室で思ったことが5つあります。一つ目は、地震後の町を歩く体験の電線にあたらないようにするのがむずかしかったです。2つ目は、東日本大震災で12秒で4分の3の人がなくなっていてとてもびっくりしました。3つ目は、大人の「助けて」の声が思ったより大きくなってびっくりしました。4つ目は、地震が起きたとき首の上らへんの場所を守ると分かりました。5つ目は、ブロックベいが落ちてくるのをよけるのがかんたんでした。(りくと)

●ぼくは、先生のお話をきいて、地しんがおきた時は、うさぎポーズしながら外にでるのが分かりました。実際にやってみると、よけたり、まわりのものを見たりするのが一番むずかしかったです。地しんがおきたら、8秒という短い時間でもものがたくさんおれたりするらしいです。つなみは、1分もたたずにくらしいです。地しんがおきたら、すぐに頭を何かで守りたいと思いました。(たかひと)



●いろいろ地しん後の体験をすることが楽しかったです。ダンボールがたおれてくるエリアや、ダンボールの中に入るエリアがあって楽しかったと思いました。うさぎ、ねずみ、カメを習いました。この3つのポーズで自分の身を守ることが分かりました。(こうが)

●私は、大地しんがきた時の訓練をしました。かべとかに近づかないで通って行きたいです。なぜなら、かべに近づくといきなりかべがたおれてくるかもしれないから2メートルははなれておきたいです。体けんの中のダンボールをくぐるのがめっちゃ楽しかったし、助けてと言うときは大声を出したいです。先生がやったらすごい声でびっくりしました。いろいろな体けんをしてすごく勉強をできたのでよかったです。(あずさ)

SDGs 合同学習会



●SDGs 合同学習を終えて思ったことが2つあります。1つ目は、何でも、興味をもって取り組むことが大切なのが分かりました。また、実際にやってみるリストを作ることも大切なのが分かりました。

2つ目は、何度失敗しても得られた経験は無駄にはならないのが分かりました。最後にこれからは SDGs の節水や節電などを気を付けて生活していきたいと思いました。(えいこう)



●私は、2回目の SDGs 合同学習の話聞いて、将来の夢に向かって行くためにどんどんいろいろなことを体験してすすんでいかないと将来の夢にたどり着かないんだなと思いました。そして、今回は手をあげて何も言うことができなかったけど、次の SDGs 合同学習会で一回でも手をあげて発表をしたいなと思いました。いつも校長先生に言われているのでがんばりたいです。(あやな)



●私は、今回のSDGs合同学習会は、むずかしいようなむずかしくなかったようなかんじです。しょうらいのゆめも、あるようなないようなかんじです。それでも、みんなわらってえがおだったのがよかったです。今回は、しゅもんがてきなくて、大谷のみんなは1回しか答えられなくて、少しさみしかったです。こんどは、がんばって「はい」と言ってあてられたいです。(アメテイス)



●SDGs 合同学習会をしてしよう来したいことを見つけるためにどうすればよいか分かりました。それは、自分の興味があるものに従って行動することです。学校で何か参加する紙をもらったら積極的に参加しようと思いました。何度も失敗したとしても経験は、むだではないということが分かりました。自分もしよう来何をしたいかが具体的には、決まっていなくて興味をもったことには、参加して、自分もしよう来を決めようと思いました。(しゅり)

●SDGs 合同学習会では、しよう来のために、かこのけいけんから自分が興味をもったことを整理することや、他者の役に立つことが大切と分かりました。さらに、「ノックラー」の由来は、「社会のとびらをたたいて学ぼう。」だそうです。そのことから、真っすぐ熱心に取り組んでいるんだなと分かりました。小倉さんたちは、「やめたいな。」と思ったこともあるけど、そういう道も受け止めて取り組んでいたの、すごいなと思いました。ゆめのためには、やり続けることなどが大切とわかりました。(こうじ)



薬物乱用防止教室



●今回、特に驚いたのは、国別で刑の重みが違うところ。薬物を知らずに持っていたとしても、つかまってしまうところが怖く感じました。

お酒もたばこも身近なところにあつて、つかまってしまう可能性が高いのですが、誘われたりしたら、きっぱり断るよう心がけたいと思います。(あこ)

●おさげやたばこは、のうが小さくなったり勉強に集中できなくなるのが分かりました。おさげやたばこは、すぐにはやめられないのが分かりました。薬物は、やたらくり返しになってくるし苦しくなるのが分かりました。丸もていねいに書けなくなるのはびっくりしました。(ひろと)

1学期を振り返って



●ぼくは、いちがっき、たのしかったことが3つあります。ひとつめは、たいいくです。てつぼうで、まえまわりやぶたのまるやきがができるようになりました。ふたつめは、おんかくです。がっきをたたいたり、こうかをうたったりして、たのしかったです。みつめは、ほかのがくねんとべんきょうしたことです。みんなといっしょでたのしかったです。(りゅうき)



おめでとうございます!

「つなげ!みんなの想いを次の舞台へ!」

石川県中学校体育大会 スローガンの部で、9年 中島来槻さんの作品が優秀作品賞を受賞しました。4000点を超える応募からの受賞です。

ありがとうございました

- ・給食調理員の前田さんご夫妻に、畑の柵とネットを作ってくださいました。
- ・豊平様から、箱いっぱいキャベツをいただきました。
- ・産業復興課様より、いかにいただきました。
- ・おおの様より、子供たちの写真をいただきました。
- ・ぶどうの木様より、お菓子をいただきました。

